

新大阪駅(地下鉄御堂筋線)

古い大阪・新大阪の道を歩く

新大阪駅(JR京都線ほか各線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.004



地下鉄・JR新大阪駅

〈弾丸列車計画と新大阪駅〉昭和13年(1938)、日本から朝鮮半島・アジア大陸(中国)へ向かう需要の急増にともない、東京～下関間の輸送力拡大とスピードアップを目的に、鉄道省は「新幹線」「広軌幹線」計画を開始しました。世間一般では、弾丸のように速い列車が走るという意味から「弾丸列車計画」とも呼ばれました。昭和15年(1940)、帝国議会は昭和29年(1954)までに東京～下関間を開通する「広軌幹線鉄道計画」(総予算5億5600万円)を承認。構想では、下関～釜山間に海底トンネルを掘削し、朝鮮半島・アジア大陸(中国)まで直通列車を走らせるというものでありましたが、戦局悪化により、昭和18年(1943)に計画は中断されました。当時の駅は現在のJR東淀川駅付近を想定していました。現在のJR新大阪駅は、昭和38年(1963)に東京オリンピックの開催に合わせて建設された東海道新幹線の終着駅として完成し、翌年(1964)開業しました。

① ざいの木神社

江戸時代、このあたりは土地が低く、たびたび淀川氾濫の被害を受けました。疲弊した百姓らを救うため3人の庄屋(山口村・西尾六右衛門、北大道村・澤田久左衛門、新家村・一柳太郎兵衛)が主唱者となり、治水工事を幕府に直訴。延宝5年(1677)に工事許可がおりましたが、費用は全額百姓持ちでした。苦しい生活をしていた百姓らは工事費の補助を嘆願しましたが聞き入れられず、反対に工事許可を取り消されました。庄屋らは我慢できなくなり、延宝6年(1678)に無許可のまま治水工事に乗り出しました。村民たちも老若

男女を問わず、私財を投げうって工事に参加し、現在の東淀川区～此花区間の約9.5キロ、幅平均22メートルの水路(中島大水道)をわずか50日ほどで完成させました。しかし、無許可の禁を犯した3人の庄屋はその責任を負って、細目木と呼ばれていた当地で、江戸の方角を睨んで自決したといひます。さいの木神社はその3人の庄屋の遺徳を讃えたものです。



② 西尾六右衛門墓

西町霊園の中にあります。現在も墓前にお花が供えられており、手厚く供養されています。



③ 光用寺

天平19年(747)に行基が創建したと伝えられるたいへん古いお寺です。本堂の裏には平家の猛将で「屋島の合戦」でも功名をたてた平景清(通称・悪七兵衛)とその郎党の墓があります。

地下鉄・JR新大阪駅

